

発行 / 公益社団法人 相模原法人会青年部会
〒252-0236 相模原市中央区富士見6-13-16
TEL.042-755-3027 FAX.042-753-3273
URL. http://www.sagamiharahojinkai.or.jp
発行責任者 / 小口伸夫(青年部会長)
編集責任者 / 宮崎健一(総務・広報委員長)

事業報告会

H26年 5 / 16



平成26年5月16日(金)に青年部会事業報告会をホテルラポール千寿閣で開催し、平成25年度事業及び決算報告、平成26年度事業計画及び予算についての報告を滞りなく終了いたしました。報告会では部会員やOBが24名出席

し、ご多忙の中相模原税務署より3名にお越し頂きました。ありがとうございました。報告会終了後の懇親会では、青年部会OBの方々や近隣の諸団体も参加して頂き、約50名にて楽しい交流会となりました。その中で、即興のマジックショーも行わ



小口部会長 挨拶する舟久保副署長

れ、大変盛り上がりました!

なお、今年の青年部会卒業生は石沢特別幹事1名でしたが、都合により出席が叶いませんでしたので、ビデオレターでの挨拶になりました。毎年卒業される先輩方がいらっしゃいますが、それよりも多くの新入部会員が増えている現状を嬉しく思います。

私自身ももっとも青年部会を盛り上げていきたいと思っています。

総務・広報委員会 委員長 宮崎 健一

県連青年部会連絡協議会セミナー

H26年 3 / 7

平成26年3月7日県連青年部会連絡協議会セミナーの演題『東日本大震災後の日本』と題した、衆議院議員 内閣府大臣政務官 復興大臣政務官 小泉進次郎氏の講演を聞いて来ました。進次郎氏は平成23年の震災発生時に「これは日本が変わる!」と感じたそうですが、震災直後こそは日本中からボランティアや義援金が集まったのに、今は未曾有の被害をもたらした地震、津波、原子力発電所の事故が、既に一部風化しつつある現状や、忘れかけている人々の気持ちを残念に思い、今でも毎月被災地に足を運んでいるそうです。

何年後になるかわかりませんが、本当に被災三県が復興を迎えた時に、地元の人々と喜びを分かち合える権利がある人間でありたいと力強く話していました。

小泉進次郎氏の復興にける思いと、



強靱な意思、行動力に感銘を受けました。と同時に自分にも風化している気持ちがある事を反省しなければいけないと感じました。

副部会長 佐藤 俊太郎



小泉 進次郎氏



小泉進次郎氏とともに記念撮影

租税教室

H26年 2 / 24・26



租税教室を終えて

平成26年2月26日、租税教室を実施しました。相模原市立向陽小学校に、講師役とパネルや写真を黒板に貼る補助役の2人一組を交代制で午前中の3回の授業を行いました。

意外と?子供達の反応もよく、問い掛けにもみんなよく答えてくれて、思っていたより好意的で助かりました。伊藤幹事が1回目を担当しましたが、身振り手振りとおバーリアクションで教室を盛り上げていました。2回目は私が担当しましたが、後半の最後のまとめの辺りで、急に口が回らなくなり、しどろもどろになってしまい、もっと練習しておけばよかったと後悔しました。最後は小口部会長でしたが、職業柄、常に人前でのセミナー等のレクチャーを受けているようで、さすがに上手く、教室を掌握している様な進行でした。

当初は仕方無く引受けた部分も有りましたが、実際に行ってみると、自分自身の勉強にもなる、なかなかやりがいのあるものでした。是非他の部会員さんにも体験して頂きたいと思います。

副部会長 佐藤 俊太郎

平成25年度に、従前に実施できなかった租税教室を実施致しました。当初は2月24日に相模台小学校の6年生105名を対象にした1教室のみの計画でしたが、最終的には2月26日に向陽小学校の6年生3クラス計143名も対象に実施しました。

講義することや人前で話すことが苦手な部会員もいたと思いますが、何度も実践さながらの練習をしたことで要領を得て、当日はアクシデントも無く無事終了することが出来ました。

これも一重に日頃大変お世話になっている相模原税務署の柿崎総務課長補佐、畑審理上席をはじめご担当署員の皆様のご理解ご協力のおかげでの成功だと感じております。この場をお借りしまして皆様、本当にありがとうございました。

最後になりますが、私が講師を務めた相模台小学校からのアンケートが回収できなかったことが少し心残りですが、他の小学校でのアンケートや今回の経験を踏まえて次のステップに結び付けたいと考えております。

社会貢献・公益委員会 委員長 平賀 周一



小口部会長



佐藤副部会長

皇居 二重橋前

貴重な経験に感激

3月11日におもしろカレッジを開催しました。

今回のおもしろカレッジは、「日本の台所築地市場と皇居及びマッカーサー記念室を見学する」という内容でした。参加人数は22名で、最初に築地市場を見学し、仲卸業者が連なる場内市場を見て回りました。場内は所狭しと魚貝が並んでいてスーパーでは、お目にかかれぬ魚や大きなマグロが何匹もいるのには大変驚きました。

次に向かったのは皇居でした。私自身皇居は初めてで、TV等では何度も見ていましたが、実際に行ってみると、まず通路の大きさに感激、お堀に感激、正月の天皇一般参賀の会場に感激、直前にケネディ駐日大使が通った通路に感激と、感激しっぱなしでした。

最後に第一生命本館のマッカーサー記念室に参りました。第一生命本館は、ギリシャのパルテノン神殿のような建築物で、見ただけでかなり歴史のある建築物であるとわかりました。建築の仕事をしているので、このような建築物を見るとワクワクしました。

今回の研修で訪れた場所は、今度いつ



築地場内市場

築地 ビデオ説明



この場所に来られるかなと思うような場所ばかりで、それぞれの記憶に残る貴重な経験ができました。

研修・交流委員会 委員長 牧 恒太



第一生命玄関

税務研修会



富岡 弘文 税理士

平成26年7月8日、法人会館にて、講師に税理士の富岡弘文氏をお招きして、「事業承継を含む相続対策」というテーマで講演をしていただきました。

会員31名(青年部会員19名)の出席

がありました。

相続税について改正が行われることから、相続対策への関心が高まっているところですが、経営者は、相続対策の一環として事業承継についても考える必要があります。

会社を経営する上で事業承継は重要なテーマであり、これを円滑に行い、税務上のメリットを得るためには方針(設計図)をあらかじめ考えて決めておかなければならないというお話でした。

身近な事例や、経験談などを交えたわかりやすいお話でした。

相続や事業承継について考えるきっかけになるとても良い研修だったと思います。

総務・広報委員会 副委員長 才川 重久

交流会



6月10日青年部会交流会として伊東市(はるひら丸)地引網体験へ参加いたしました。

研修・交流委員会 牧委員長ご尽力の元、17名の参加者で梅雨の最中でしたが降雨もなく時折、晴れ間も覗く野外研修日和となりました。

予想よりも体力が必要な地引網体験の後、楽しみにしていた砂浜でのバーベキュー、捕れたての魚の刺身やフライ、煮

つけなど最高の昼食となりました。

地引網体験後、汗ばむぐらいの陽気で早起きも重なり参加者の疲れが見えはじめた頃、委員長が機転を利かせ、予定にはなかった道の駅での入浴、人によってはマッサージ、お昼寝、個々に普段の疲れを癒すことも出来ました。

帰りの道、小田原(山安)での海産物の買い物もあり、とても充実した一日が過ごせました。



この度の研修でお世話になりました(株)協和観光様、参加者の皆様方、本当にありがとうございました。

私はまだ青年部会に入会して間もないのですが、部会員の皆様には入会当初から大変良くして頂き、これから皆様より教わることもたくさんあると思いますので、ご指導の程、宜しくお願い致します。

研修・交流委員会 委員 松田 桂吾

事業PR(全体会議時)

青年部会では毎月の全体会議で会員による事業PRを行っています。

青年部会では毎月の全体会議で会員による事業PRを、互いの仕事を知ることで会員相互の友情と尊敬が育まれる事を目的として実施しています。

2月には(株)相模工業(中央区由野台・解体業)の伊藤由樹会員。解体と一口に言っても構造物に合わせてさまざまな工法が存在している事。全部を壊すだけではなく一部を取り除いて使用するための解体工事。ダイナマイトで爆破する工事などが続々と紹介され素人が思い及ばない工具やノウハウがある事が判りました。

4月には(株)小池設備(南区西大沼・水道設備業)の小池重憲会員。同社は今年40



2月 伊藤 由樹



4月 小池 重憲

周年を迎える老舗。先代社長から引き継ぐ事になった時の苦労話や従業員が楽しく働ける環境作りなどの話があり、小池会員の考える企業像に向かって社が一丸と進んでいる様子が他の会員にも伝わり

ました。事業PRを通して会員相互の友情を深めるに留まらず各々の研鑽にも繋がれば素晴らしいことだと思います。

部会長 小口伸夫